

平成29年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧(9月～12月) その2

※予定が変更になる場合がありますので、詳細は直接事業主体機関にお問い合わせ下さい。

No.	機関名	事業名	事業内容	開催日	時間	会場	問い合わせ先	
							担当部署名	電話番号
5	栃木県立博物館	史跡紹介「中世宇都宮氏の興亡のあとをさぐる」	県内の宇都宮氏ゆかりの史跡と関連各市町における発掘状況等をもとに紹介します。	9月23日(土)	10:00～16:30	県立博物館講堂・研修室	県立博物館 教育広報課	028 (634) 1312
6	佐野市	第24回全国山城サミットin佐野	国指定史跡「唐沢山城跡」を擁する栃木県佐野市を会場に全国山城サミットが開催される。	11月25日(土) ・26日(日)	11月25日(土) 13:00～17:45 11月26日(日) 9:00～16:00	11月25日(土) 佐野市文化会館 11月26日(日) 唐沢山城跡	佐野市役所 観光スポーツ部 観光立市推進課	0283 (27) 3011
7		第66回企画展 全国山城サミット佐野大会記念「佐野の城と館」	全国山城サミット佐野大会を記念した企画展。	10月7日(土)～ 12月3日(日)	9:00～17:00	佐野市郷土博物館	佐野市教育委員会文化財課 佐野市郷土博物館	0283(61)1177 0283(22)5111
8	小山市	琵琶塚古墳・摩利支天塚古墳ガイダンス施設開館記念古墳まつり	歴史ボランティアガイドによる展示案内・解説	11月中の1日	未定	琵琶塚古墳・摩利支天塚古墳ガイダンス施設	小山市教育委員会 生涯学習課文化財係	0285 (22) 9669
9		ラムサール条約湿地「渡良瀬遊水地」登録5周年記念第69回企画展	古代の製鉄遺跡群-渡良瀬遊水地周辺の大地に刻まれた歴史を探る-	10月21日(土)～ 12月3日(日)	9:30～17:00 (入館は16:30まで)	小山市立博物館	小山市立博物館	0285 (45) 5331
10	真岡市	歴史教室	歴史に関する講演会	年6回	13:30～15:30	真岡市市民会館小ホール	真岡市教育委員会 文化課	0285 (83) 7731
11		真岡市歴史資料保存館 夏休み一般公開	真岡市歴史資料保存館の一般公開	夏休み中4日間	未定	真岡市歴史資料保存館	真岡市教育委員会 文化課	0282 (21) 2498
12	大田原市	侍塚古墳群ツアー	侍塚古墳群を歩いてめぐる見学会	10月21日(土)	13:30～	大田原市内	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
13		市内遺跡ツアー	市内遺跡を歩いてめぐる見学会	11月25日(土)	13:30～	大田原市内	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
14		なす風土記サロン	木曾武元	12月17日(日)	13:30～15:00	大田原市役所湯津上庁舎	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
15	大田原市 那珂川町	第25回特別展 那須の歴史をひもとくⅢ「那須の人々の心とほどけ-古代から中世初期の仏教をたどる-」	古代から中世初期の仏教をテーマとした展示会	9月16日(土)～ 11月19日(日)	①開館時間:開館時間:9:00～17:00 ②開館時間:開館時間:9:30～17:00 (入館は16:30まで)	①大田原市 なす風土記の丘湯津上資料館 ②那珂川町なす風土記の丘資料館	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	0287 (98) 3322
16		第25回特別展史跡見学会	福島県棚倉町方面の仏教関連遺跡をバスでめぐる見学会	9月30日(土)	8:00～17:00	福島県棚倉町方面	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
17		第25回特別展展示解説	展示解説	9月17日(日) 10月14日(土) 11月18日(土)	各回とも午後1時30分～	大田原市なす風土記の丘 湯津上資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
18		第25回特別展記念シンポジウム	特別展関連の講演会とシンポジウム 講師 須田 勉氏(元国士館大学教授) 水野 陽敏氏(日本書院史研究所) 池田 敏宏氏(県埋蔵文化財センター)	10月30日(日)	9:30～15:30	那珂川町ふるさと館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
19		第25回特別展史跡ウォーク	那須町周辺の仏教関連遺跡を歩く見学会	11月11日(土)	9:00～15:00	那須町周辺	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
20		古代なす学入門	歴史解説員養成講座	4月～3月	適宜	那珂川町 なす風土記の丘資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
21	下野市	甲塚古墳出土遺物重要文化財指定記念シンポジウム(仮)	未定	11月26日(日)	13:30～	国分寺聖武館	下野市教育委員会 文化財課	0285 (32) 6105
22		定期歴史講座	しもつけ風土記の丘資料館周辺の文化財について、担当者等による解説を行う。	8月20日、9月24日、10月15日、 11月19日、12月17日	13:30～15:30	しもつけ風土記の丘資料館	しもつけ 風土記の丘資料館	0285 (44) 5049
23	那須塩原市	土器づくり教室	大人向け土器づくり体験	11月3日(金)	9:00～15:00	那須野が原博物館	那須野が原博物館	0287 (36) 0949
24	市貝町	企画展「いちかいの城跡」	県立博物館の企画展と連携し、市貝の代表的な城跡や関連する武士団を紹介。	9月16日(土)～ 10月29日(日)	9:30～19:00	市貝町立歴史民俗資料館	市貝町教育委員会 生涯学習課文化係	0285 (68) 0020
25		講座 「市貝の城跡を探索しよう」	市貝町内の代表的な城跡を実際に歩く。	9月30日(土)	9:30～11:30	町内城跡	市貝町教育委員会 生涯学習課文化係	0285 (68) 0020
26	壬生町	車塚古墳発掘調査記念講演会	車塚古墳発掘調査の成果について	11月18日(土)	13:00～15:00	城址公園ホール 大ホール	壬生町歴史民俗 資料館	0282 (82) 8544
27	高根沢町	縄文道場	縄文料理体験	10月15日(日)	10:00～12:00	町歴史民俗資料館	高根沢町教育委員会 生涯学習課	028 (675) 3175
28	那珂川町	特別陳列 えと展	干支に関わる展示を行う	12月9日(土)～ 1月14日(日)	開館時間:9:00～17:00 (入館は16:30まで)	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
29		古代文字講座	古代文字を学び、ハンコをつくる 講師:小勝雅明氏 (栃木県刻字協会副会長)	12月9日(土)	9:30～12:00	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366
30		ミニ門松づくり	ミニ門松をつくる	12月16日(土)	9:30～13:00	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3368
31		なす風土記講座	那須の歴史について解説する	5月～2月の全8回	13:30～15:00 ※第5回は9:30、 第8回は13:00から	那珂川町なす風土記の丘 資料館	那珂川町なす風土記の丘 資料館	0287 (96) 3366

埋蔵文化財センターの見学・体験学習・職場体験等のお申し込みは、

ホームページ <http://www.maibun.or.jp>

をご覧のうえ普及資料課まで

月～金 TEL 0285-43-1971 (直通)
日曜日 TEL 0285-44-8441 (代表)

編集後記

栃木県文化財課 Facebook『体感 !! とちぎの文化財』は、専門的で難しくなりがちな文化財に関する説明や情報を、食や観光に関することも交えながらカジュアルに紹介しています。ぜひ、ご利用下さい。 [しのゆ]

栃木県埋蔵文化財センターだより

C O N T E N T S

○埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から
刈沼遺跡
堀米城跡・堀米遺跡
国史跡佐貫石仏
○市町教育委員会が実施した発掘調査から

箕輪城跡(下野市)
○埋文センターは変わった！
○まいぶん専門職員のいま気になるモノ
○常設展示室から
○平成 29 年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧表

2017
9月



勾玉です

世界で四つしかない

とちぎ発掘イッピン図鑑



実物大

にし もの い

西物井遺跡(真岡市)から出土した、ひときわ小さな子持勾玉です。勾玉に小さな勾玉が付いたこの形は、普通の勾玉と比べて出土数が少なく、なかでも三角形を組み合わせた模様の付く例は全国で4点しかありません。子持勾玉は日本オリジナルですから、世界で 1/4 の貴重品といえますね。(実際の大きさは 5.6 cm)

こ もち なが たま

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から

刈沼遺跡（宇都宮市刈沼）



小川忠博氏撮影

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から

堀米城跡・堀米遺跡（佐野市堀米）

平成 26～28 年度にかけて県道拡幅工事に先立ち発掘調査を行いました。

古墳時代から平安時代までの集落跡と、鎌倉時代の堀米城跡の堀などを発見しました。

平安時代初めの住居跡から、麻を紡いで糸をつくる時に使う弾み車（紡錘車）が出土しました。この紡錘車には「光とは徳である。徳によって良い効果があった」と解釈できる文字が書いてありました。このうち「光」や「徳」は仏教の経典や説話にしばしばみられる言葉です。下野市多功南原遺跡の紡錘車にも仏教の経典と関連する文字が書かれていました。



目 千 正 得 上 得 有 見 徳 是 光
(右から左に読みます)

刈沼遺跡は、鬼怒川の東、清原地区にあります。宇都宮市教育委員会が平成 9～22 年度まで調査を行い、埋蔵文化財センターが報告書を作りました。

遺跡は縄文時代後期後半から晩期（約 3,400～2,600 年前）の大規模な集落で、見つかった住居跡や穴は直径約 90m の輪の帯に集中し、土器や石器が大量に発見されました。

出土品は左の写真のようにたくさんの種類があり、石斧なども作っていた、地域の中心的なムラであることが分かりました。

糸をつむいでいた人が仏教を信仰して、人のために功德を積んで、良いことがあったのでしょうか。

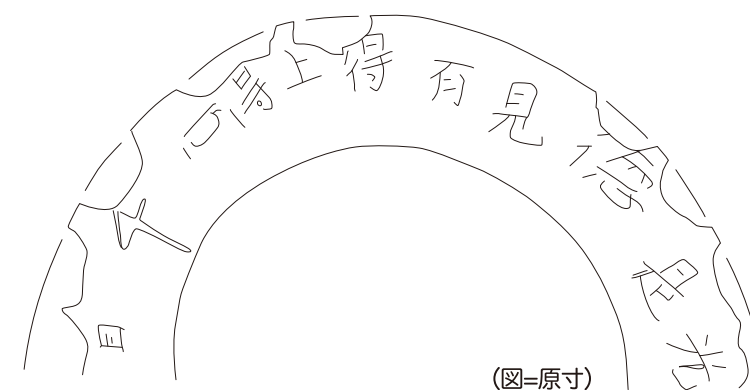
生活のなかでの古代人の厚い信仰のようすが感じられます。



のぼり戸遺跡（芳賀町）から出土した鉄製の紡錘には、糸が残っていました。



直径 4.6cm
(写真は原寸)



(図=原寸)



紡錘車（はずみ車）
紡錘（「つむ」とも言います）

小松茂美編 1987 『信貴山縁起』日本の絵巻 4 中央公論社よりトレース

植物の繊維などを、コマの回転力を利用して、ねじって撚りあわせ、糸にすることを紡ぐと言います。

糸を紡ぐ道具は、軸の長いコマのような形状で、軸の上には糸を引っ掛けるフックがついています。これを、回転させて撚った糸を巻き付けていきます。

世界でも、こうしたドロップ・スピンドル法の糸つむぎが、多く用いられています。

埋蔵文化財センターが実施した発掘調査から
国史跡佐貫石仏（塩谷町佐貫）

国指定史跡佐貫石仏を未来に伝えるため、基礎となる情報を得る目的で、塩谷町からの委託を受け、平成28年10月から12月の間、確認調査を行いました。

磨崖仏（大日如来座像）の前面には施設が予想されたので掘ってみると、磨崖仏が彫られた崖面から5～6m離れ、崖に平行した石列が確認されました。磨崖仏台座の彫刻は崖の下約1.5mまでしかないので、磨崖仏の前には段があった可能性があります。

発掘調査の状況



上の写真に磨崖仏の線刻と、掘立柱を復元してみました。

右の図は、「笠置寺縁起絵巻」（京都府指定文化財）の一部です。笠置寺は、奈良時代に彫られたとされる磨崖仏を本尊とする寺院で、磨崖仏前面の段や建物など、佐貫石仏との類似性が認められます。
※図は笠置寺HPの資料集<http://kasagidera.la.coocan.jp>よりトレース



石列から離れた位置では、東西に長い掘立柱建物跡を発見しました。残っていた柱を炭素分析したところ12世紀後半から13世紀前葉の年代測定結果が出ました。

石列の前からは鉄釘や中世の銭（当時の流通貨幣は渡来銭）、江戸時代から近現代の銭・硬貨の賽銭（報賽銭）が出土しました。

さらに、掘立柱建物の南側の鬼怒川寄りでは井戸跡が発見され、中世の陶器が見つっています。

今回の調査は、3カ年計画の1年目です。今後の調査も目が離せませんね。

市町教育委員会が実施した発掘調査から
箕輪城跡（下野市箕輪）

箕輪城跡に隣接する南側の調査で、縄文時代から平安時代にかけての集落跡が見つかったことは前回ご案内しました。*

今回はその後の整理作業で明らかになった注目すべき遺物をご紹介します。

それは、古墳時代の竪穴建物跡から出土した樽型甕の破片です。

この土器には、組紐文様がつけられていることから、朝鮮半島系（韓式）土器と考えられます。

（資料・写真提供 下野市教育委員会）



中央の小穴に竹などを差し込み、液体を注いだとの説がある容器

それでは、この樽型甕について、韓国古代史に詳しい うっちーに解説をお願いします。



うっちーペディア



うっちー**

樽型を含めた甕は、韓国の南西部、今の光州付近で用いられた土器です。

そして、組紐文は、韓国の南東部で使用されていた文様です。

5世紀の前半、それぞれの地域は異なる国でしたので、この二つの要素が半島で一緒になることは、特別な理由がないかぎり、ありえないのです。

つまり、それぞれの地域で土器を作っていた工人が日本へ渡来し、陶器遺跡（大阪府）などの工房と一緒に須恵器を作った結果、朝鮮半島では実現しなかったこの土器が誕生したのです。



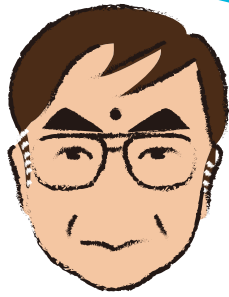
甕+組紐文=箕輪城跡出土の樽型甕（模式図）

線は伝播の方向を指すもので、実際に運ばれてきた経路を表すものではありません。

樽型甕の出土自体、栃木県では少ないのに、さらに特別な環境で作られた土器だったのですね！



埋文センターは変わった！



愛称：シュウさん
県立博物館・埋文センター・文書館・県立宇都宮南高校長を経て現職。土偶や大珠等を中心に幅広い縄文文化の研究で活躍。多くの学会役員や日本考古学協会理事などを歴任。現栃木県考古学会副会長。

栃木県埋蔵文化財センター 所長 上野修一

皆さんこんにちは。17年ぶりに埋蔵文化財センターに戻ってきました。よろしくお願いします。まず驚いたのが、昨年度に新たに設置された展示室です。皆さんはご覧になったことがありますか。私たちが調査した遺跡のなかから、各時代を代表する遺物が所せましと並べられています。その内容は、宇都宮にある県立博物館にもけして負けていませんので、ぜひ一度はお出かけください。

ほかにも、調査で得られた成果を県民の皆さんに分かりやすくお伝えするために、ホームページやパンフレットの内容も工夫されています。そして何よりも驚いたのが、小学生などの見学でにぎわっていることです。近隣の古墳や下野国分寺などの遠足を兼ねて、私たちのセンターやしもつけ風土記の丘資料館を見学する学校が、昨年度は69校3,444名、出前授業を加えると121校5,701名でした。一人でも多くの方々が本物にふれることで、ふるさとの歴史や文化に興味を持ていただければ幸いです。皆さまのご利用を、心からお待ちしております。

まいぶん専門職員のいま気になるモノ

篠原さん、最近気になっているモノなに？

「茶の湯」の歴史です！

去年の「マロニエ文化学びのひろば考古学セミナー」で講演されましたね。今年は全国の博物館で「茶の湯」関係の展示があり、まさに注目の分野ですね。

茶道具に注目が集まることは良いことです。できれば、それらが成立した背景にも目を向けてくれると嬉しいのですが。

「茶の湯」で注目したい遺物がありますか？

ズバリ茶臼です！中国宋から伝わった抹茶は、茶葉を細かい粉にします。ですから最新式の茶臼は貴重品でした。日本への抹茶の導入と展開を考える上で、当時、財産的価値があり、代々受け継がれるものもあった茶臼を調べることは重要なのです。

今後、どのような視点で研究を進めていくのですか？

抹茶文化以前となる奈良・平安時代の喫

篠原浩恵【整理課副主幹】

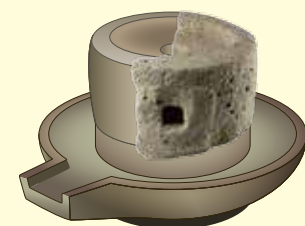
愛称：ひろえちゃん
センター女性専門職員第1号
専門：編組製品・原始古代衣装
茶道では庵号・正教授資格を持つ



茶を整理していきたいです。この時代は、お坊さんの眠気防止や儀式などで茶が用いられていました。栃木県には、天下の下野薬師寺があり、下野国分寺跡からは、貴重な緑釉火舎（茶を沸かした道具の可能性あり）も出ています。中央と直接結びつく文化があることから、興味深い地域なのです。

考古学ありきの視点ではなく、茶人の視点を併せて見ることで、見落としてきたものが見えたら良いなと思います。

篠原さん、ありがとうございました。



下陰遺跡(真岡市)から出土した茶臼の復元図 穴にL字の棒を差し込み回して挽きます。



下古館遺跡(下野市)出土青磁碗



粟宮宮内2遺跡(小山市)出土天目碗

※まいぶん＝埋蔵文化財の省略語「埋文」

常設展示室から

遺物に時間が記されている例をご紹介します

ましよう。奈良時代から平安時代の中頃まで、細い木の板を用いた、書類や荷札がありました。これを木簡と呼びます。下野国府跡(栃木市)から「天平元年」(729)と書かれた木簡が当時のゴミ穴から出てきました。一緒に土器も出てきたので、この土器が天平年間のころに存在したことが分かります。しかし、存在したことは分かるのですが、いつゴミ穴に捨てられたのか、土器が作られてから捨てられるまでの時間の幅をどう考えるのかなど、いろいろ

今回は、「西暦●●年ごろ」のように、具体的な数字で年代を示す「絶対年代」についてお話しします。

「絶対年代」でつくる「時間のものさし」は、大きく分けて二つの方法があります。ひとつは、年代をあらわす文字が出土資料(遺物)にあり、それを基準にする方法、もうひとつは、理化学的に分析・測定して決定する方法です。

るな問題も検討しなければなりません。

理科学的に分析・測定する方法はいくつかあり、有名なところでは、放射性炭素年代測定法や年輪年代法が挙げられます。放射性炭素年代測定法は、動植物に取り込まれた放射性炭素14の量を測定・分析し時期を特定します。しかし、誤差の幅があるために、細かい年代を求める場合は適しません。一方、毎年の気象状況などの成育環境で年輪の幅が変わることに注目した年輪年代法は、一年ごとの時間が分かるので、伐採された時期やその木材の主な時期が把握できます。しかし、サンプルの揃った木材の時間幅しか使用できない欠点があります。

この時間の定点を、前回お話しした相対年代法で作られた「時間のものさし」に当てはめれば、「時間のものさし」に数値が加わるようになります。考古学では、「時間のものさし」を「編年」と呼びます。時間と空間を整理する基準となる「ものさし」こと「編年」。考古学という物証史学が歴史を叙述するためには、必要不可欠なものなのです。 ※2016年8月号と連載(完)

平成29年度 栃木県内の埋蔵文化財イベント一覧(9月～12月) その1

※予定が変更になる場合がありますので、詳細は直接事業主体機関にお問い合わせ下さい。

No.	機関名	事業名	事業内容	開催日	時間	会場	問い合わせ先	
							担当部署名	電話番号
1	公益財団法人とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター	平成29年度 特集展示「栃木の遺跡」～最近の発掘調査成果から～	平成28年度までに発掘調査された遺跡などを速報展示する。	10月15日(日)～12月10日(日)	9:30～16:30 (入館は16:00まで)	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター普及資料課	0285(43)1971
2		平成29年度「発掘調査報告会」	平成28年度に発掘調査や整理作業・発掘調査報告書の作成をした遺跡の発表会と、特集展示の解説をおこなう。	10月22日(日)	10:00～	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター普及資料課	0285(43)1971
3		特別講演会	平成29年度特集展示にちなんだテーマの講演会。 講師：房総のむら風土記の丘資料館 白井久美子氏 テーマ：古墳時代の「しもつけ」と「ふさ」について	11月12日(日)	13:30～	栃木県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財センター普及資料課	0285(43)1971
4		史跡見学会	常見古墳群や国宝宝篋印寺本堂、国指定史跡榊崎寺跡など足利地域の遺跡・史跡を見学する。	11月26日(日)	8:00～16:30(予定)	足利市周辺	埋蔵文化財センター普及資料課	0285(43)1971